

ICT利用による情報化農業確立のための害虫発生モニタリングシステムの開発

有馬 誠一

(愛媛大学 植物工場研究センター)

研究開発期間：フェーズⅡ：平成27～28年度

1 研究開発の目的

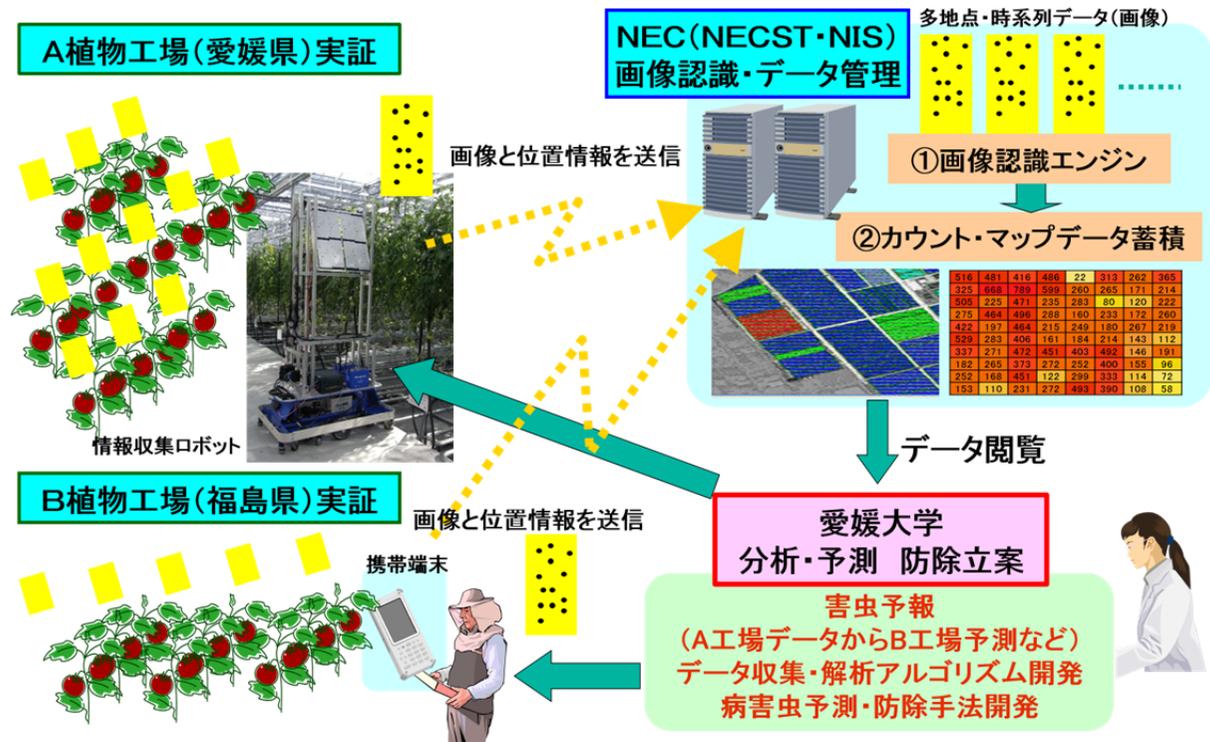
- ★害虫発生状況の早期発見・マップ化
→ 早期の対策立案と実施
- ★害虫発生状況把握の多地点化・広範囲化・高頻度化

2 研究開発の概要

- ★ICT利用による害虫発生モニタリング
- ★画像処理アプリケーションによる害虫発生の現状把握
- ★クラウド上でのビッグデータ処理と閲覧
(スマートフォン ↔ クラウド ↔ 人
インターフェース開発)
- ★栽培環境情報との関係进行分析
→ 知識ベース化

3 期待される研究開発成果及びその社会的意義

- ★化学合成農薬・環境負荷の低減
- ★安全な食料の安定供給
- ★人・環境・社会にやさしい食料生産の実現



害虫発生モニタリングシステムの概念図